


オランダ王国			首都	アムステルダム
 <p>「王子の旗」とも呼ばれ、昔は赤ではなく、オレンジ公ウィリアムに因んで、オレンジであり、王室のシンボルとして使っている。</p> <p>独立：1648 スペインより 国連加盟：1945/12/10 政体：立憲君主制</p>		国の概要	国土	面積 4万 2,000 km ² (九州と同じ) ライン川とマース川の河口にできた低地で、国土の4分の1は堤防で守られたポルダーとよばれる海面下の干拓地である。国土と運河と排水路で区画された平坦な土地で、南東部の最高地点でも標高はわずか 321m しかない。北海岸には砂丘が連なる。オランダの国土はオランダ人自身が作った土地であるといわれる。
			人口	1,642 万人
			言語	オランダ語 (公用語)、フリースラント語
			通貨	ユーロ
			気候	偏西風とメキシコ湾流の影響で、夏はさほど暑くなく冬の積雪も少ない温和な気候である。西方海上から吹き抜ける風と曇った天気が多いことが特徴である。
			民族	ゲルマン系オランダ人 80%
			宗教	カトリック 30%、プロテスタント 21% イスラム教 6%、ヒンズー教 1%
教育制度の概要	学校体系		<ul style="list-style-type: none"> ・初等教育 8 年(5 歳～12 歳)、中等教育から進路別に、大学準備教育(6 年間)、一般中等教育(5 年間)又は中等職業教育(4 年間)に分かれる。大学は 4 年である。 	
	義務教育		<ul style="list-style-type: none"> ・5 歳(幼稚園の年長)から 18 歳(小学校 6 年間と中等教育の前半の 4 年間)までが義務教育期間でだが、最後の 2 年間については、部分的義務教育である。 ・遅くとも 5 歳の誕生日の翌月 1 日から始まる。 ・8 学年 (12 歳) で、CITO (全国共通テスト) が実施され、その成績と日常の成績を資料として次の学校への進路選択がなされる。 ・公立も私立も無償で、国の補助がある。 	
	日本と比較した教育課程上の特徴		<ul style="list-style-type: none"> ・学校年度は 8 月 1 日～翌年の 7 月 31 日である。 ・オランダ語で授業は行われるが、子どもの感性、知性、創造性の発達と、十分な社会的、文化的・身体的能力を身につけることに重点が置かれている。 ・ほとんどの中等学校は 1 年から 2 年間の移行期間というものを設け、自分は何をしたいのか、自分が本当に興味のある 	

		教科は何かなどはっきりしていない子どもにコースを移っていいようにしている。
	義務教育後の教育	<ul style="list-style-type: none"> ・中等教育は 3 種類あり、職業訓練中等教育 (VMBO)、上級一般中等教育 (HAVO)、大学進学中等教育 (VWO) があり、ほとんどの中等学校では、これらの教育のうち、2 種類以上を提供している。VMBO は 4 年職業教育 (MBO) に進むことができる。HAVO は 5 年制で、その先は上級職業教育 (HBO) で、VWO は 6 年制で、大学教育 (WO) に続く。 ・大学準備教育と中等職業教育のいずれを選ぶかにより、事実上次の進学先として大学(4~6 年)を選ぶか高等職業教育(4 年間)が決まる。現在初等学校卒業生の半数以上が中等職業教育に進学する。
	就学前教育	<ul style="list-style-type: none"> ・義務ではない。託児所(6 週間~4 歳)、保育園(おおむね 2~4 歳)。費用は保護者の所得等により違っている。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・教育は、中央に当該省があるが、具体的内容は各自治体や学校に任されている。 ・アメリカンスクールをはじめ国際学校がある。
学校生活	学級担任制、教科担任制等	<ul style="list-style-type: none"> ・学習困難な生徒を指導する担当教諭がいる。特に「宿題監督者」の制度は、学校で先生の指導のもとで宿題をする機会を得られるというものである。
	給食	<ul style="list-style-type: none"> ・給食はなく、各自で弁当を持参する。食堂で牛乳等を買うことができる。
	子どもの一日	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の場合、8 : 45 に授業が始まり、3 時限 (1 時限は 45 分) が終わると 20 分の小休憩がある。その後、2 時限あり、12 : 50~13 : 20 までが休憩 (お昼休み) になる。その後 4 時限あり、16 : 20 に授業が終わる。放課後は、宿題をしたり、テレビを見たり、コンピュータでチャット等をしたりして過ごすことが多い。
生活習慣等	食生活	<ul style="list-style-type: none"> ・朝と昼にジャムやチーズ等をのせたパンを食べることが多く、夜は温かいご飯を食べる。伝統料理はケール (キャベツの一種) とソーセージ、エルテンスープ、それにヒュッツポット (つぶしたじゃがいも、たまねぎ、にんじんの料理) である。
	衣服住居の違い	<ul style="list-style-type: none"> ・都会では、昔からの古い家やハウスボート、マンションなどの集合住宅に住んでいる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな町では、テラスハウスという2階か3階建ての家族用住宅が一般的で、家の前には小さな庭があり、裏には大きな庭がついている。同じような家が横一列に並んでいる。 ・田舎では、暖炉の上の壁やキッチンがタイルで装飾された1軒家である。
交通規則の違い	<ul style="list-style-type: none"> ・国民のほぼ全員が1台またはそれ以上の自転車を持ち、学校や仕事に行くときや休日に使う。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・休日を大事にし、多くは、家族や友達と過ごしたり、地域のスポーツクラブや劇団、音楽グループに入って活動したりする。 ・スポーツが盛んで、中でもサッカー、スケート、ホッケー、自転車競技、水泳、ヨット、乗馬が人気である。 ・家族や仲間と一緒にいる時に感じる温かい気持ち「ヘゼリフ (Gezellig) という言葉をよく使う。

<参考資料>

- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・世界の学校を見てみよう！（キッズ外務省）・・・・・・・・外務省
- ・諸外国の教育情報・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・ジュニア世界の国旗図鑑・・・・・・・・・・・・・・・・平凡社
- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・アトラス
- ・豊かな国オランダで生活して・・・・・・・・アムステルダム日本人学校 山田 高之
- ・ロッテルダム日本人学校（月刊誌「海外子女教育」）・・・・・・・・海外子女教育財団
- ・オランダの教育制度・・・・・・・・・・・・・・・・オランダ大使館